

一 般 質 問 通 告 書

2025 年 2 月 12 日

前
午 9 時 50 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

2025 年 2 月 12 日

湖西市議会議長 馬場 衛様



湖西市議会議員 相曾 桃子 印

(署名又は記名押印)

質 問 方 式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	乳幼児健康診査について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	乳幼児健康診査について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 乳幼児健康診査については、母子保健法（健康診査）第十二条に「市町村は、次に掲げる者に対し、内閣府令の定めるところにより、健康調査を行わなければならない。」と定め、「1歳6か月児」及び「3歳児」に対する健康診査の実施が義務付けられている。また、第十三条に「前条の健康診査のほか、市町村は、必要に応じ、妊産婦又は乳児若しくは幼児に対して健康診査を行い、又は健康診査を受けることを勧奨しなければならない。」と定め、乳児期（「3から6か月頃」及び「9から11か月頃」）の健康診査についても全国的に実施されている状況となっている。当市においても、4か月児健康診査、10か月児健康診査を実施している。 こうした中で、新たに「1か月児」及び「5歳児」に対する健康診査の費用を助成することにより、出産後から就学前までの切れ目のない健康診査の実施体制を整備することを目的にこども家庭庁は、令和5年度補正予算を組み、また令和6年度補正予算では補助単価を増額し、早期の全国展開を目指している。 法定ではなく任意健診であるが、身体の異常の発見や発達の評価を行うために重要な健診である一方、健診医の確保ができない、医師以外の専門職が確保できない、健診実施に当たっての基本的な運営や、特に5歳児についてフォローアップを含めた体制整備が困難といった課題も挙げられている。 (質問の目的) 当市における乳幼児健康診査の現状、必要性、課題を明らかにし、出産後から就学前までの切れ目のない支援体制を整えるため。 (質問事項) 1. 乳幼児健康診査の実施状況と受診率を伺う。 2. 未受診児への対応について伺う。	

3. 健診結果で異常と判断された場合、医療機関へ繋げた割合と、支援が必要な未就学児の保護者への相談支援体制について伺う。
4. 以上の結果から、乳幼児健康診査を行う上での課題を伺う。
5. 出産後から就学前までの切れ目のない支援体制について、現状の評価と、1 か月児・5 歳児健康診査の導入に対する市の見解を含めた今後の取り組み方針を伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

2025 年 2 月 25 日

前
午 10 時 7 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

2025 年 2 月 25 日



湖西市議会議長 馬場 衛様

湖西市議会議員 相曾 桃子 印
(署名又は記名押印)

質 問 方 式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
2	市長施政方針について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
2	市長施政方針について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 令和7年2月20日、湖西市議会3月定例会において、市長施政方針が発表された。これからの1期4年間、「魅力ある湖西市をこどもたちへ」を市政運営の基本に据え、「次世代につなぐチャレンジ」に積極的に取り組んでいくと力強い言葉があった。しかし、少子高齢化・人口減少、公共施設の更新と、経済的にも大変苦しい決断が求められている。 (質問の目的) 概ね賛同できるが、疑問が残る点について確認し、市長の考えを理解するため。 (質問事項) 1. 「市民意識調査で満足度が低かった公共交通については迅速にかつ集中的に取り組んでいく」とあり、何よりも市民の「満足度」を上げていきたいことは伝わった。市長の考える「満足度」とは、市民意識調査の結果を評価指標としているのか伺う。 2. 湖西病院の経営改善を一層進め、令和9年度までに基準外繰入金を2億円削減の目標を前倒しで実現できるように努力するとしているが、無理なコスト削減が医療の質の低下や働く職員のモチベーション低下につながり、市民の安心安全の医療提供に悪影響が出るのではないかと不安があるがいかがお考えか。	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 2 月 12 日

午前 9 時 55 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 7 年 2 月 12 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 佐原佳美

(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 一括の質問答弁
番号	主 題
1	受入対象者事前登録制の福祉避難所について
2	新所子育て支援センターにこりんの機能充実について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	受入対象者事前登録制の福祉避難所について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 私は、昨年(2021)の9月議会の一般質問「南海トラフ巨大地震等の防災・減災対策について」において、医療的ケア児者のご家族から「自治会・自主防災会や医療関係者等にご協力頂き、災害時の個別避難計画を作成し避難訓練の実施までできると良い。」という希望を伺い、それを基に質問しました。これに対し「行政に声がけして下されば対応する。」という主旨の当局の答弁でした。 そして12月議会では、市長所信表明に対する一般質問で福祉避難所の運営について伺ったところ、市長は「福祉避難所となる事業所の意見を聞きながら取り組む。要配慮者や医療的ケア児者の方々の避難訓練は県全体の課題であり、現状把握をして地域の協力を得て、どう助けるか計画を立てる。」との主旨の答弁をしました。 一方で、私が一般質問前に福祉避難所の施設長の方々に伺ったところ、共通して「備蓄や環境整備などのために事前の予算措置を講じて欲しい。」との希望がありました。この点をお伝えしましたが、市長の「事業所の意見を聞きながら取り組む」という方針に委ねる形となり、釈然としない思いが残りました。 しかしその後、「福祉避難所へ直接避難」という新聞の見出しを見つけ、事前防災として避難行動要支援者への具体的な支援行動を起こせる取組と思い、当市も取り組むべきと考え、1月30日に市長へ要望書を提出しました。その要望は、政府の令和6年度補正予算に基づく新地方創生交付金を活用し「受入対象者事前登録制の福祉避難所」の創設を検討する合議体の設置を物価高騰対策などと併せて予算措置を求めました。 (質問の目的) 令和3年5月改定の「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」(災害対策基本法施行規則の改正に伴う措置)に則り、事前に受入対象者を特定し、要支援者と受入施設が顔の見える関係で防災対策を講じ、福祉避難所の円滑な運営と適切な支援が強化されること。	

《参考》

【令和3年5月福祉避難所の確保・運営ガイドライン改定のポイント】

—内閣府・防災情報のページより抜粋—

○改定の経緯：令和元年台風19号等を踏まえた高齢者等の避難の在り方について最終とりまとめ令和2年12月24日

○障害のある人等については、福祉避難所ではない避難所で過ごすことに困難を伴うことがあるため、平素から利用している施設へ直接に避難したいとの声がある

○指定避難所として公表されると、受入れを想定していない被災者の避難により、福祉避難所としての対応に支障を生ずる懸念があるため、福祉避難所の確保が進んでいない等

○改定の趣旨：指定福祉避難所の指定を促進するとともに、事前に受入対象者を調整して、人的物的体制の整備を図ることで、災害時の直接の避難等を促進し、要配慮者の支援を強化する

（質問事項）

1. 今年度、避難行動要支援者名簿掲載者（R6年6月時点）1,460名に対して行った防災・減災対策は。

2. 今年度、指定福祉避難所の施設設置者を行った防災会議等の実施状況とその内容は。

3. 令和3年5月改定の「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」によりこれまで不明瞭だった準備の行程が明確になった。また、福祉避難所への受入や運営には個別避難計画の策定が不可欠で、受け入れ体制の構築には予算が伴うと考えるが、内閣府が推奨するガイドラインに則った事前に受入対象者を特定する登録制の福祉避難所に変更していくお考えは如何か。

番号	主 題
2	新所子育て支援センターにこりんの機能充実について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 私は、令和4年の9月議会で「令和5年度末閉園予定の市立新所幼稚園の利活用について」と題して「発達に課題があるお子さんの療育支援（児童発達支援）も担うインクルーシブ型の子育て支援拠点に利活用して欲しい」と提案しました。それは、「発達に課題のあるお子さんの保護者から、市内に1日コースで療育支援をするセンターが無いと、豊橋市や浜松市まで通っている。」「子育て支援センターで療育をして欲しい。市内に、療育センターが欲しい。」との複数の声を聞いたからです。 本年1月11日「新所子育て支援センターにこりん」が、オープンしましたが、事業内容は、就学前までのお子さんの、遊びの広場と預かり保育、子育て相談、子育て関連講座となっており、インクルーシブ遊具の設置も少ないです。 発達に課題のあるお子さんの相談拠点との事なら、療育機能も欲しいとの声は、依然としてあります。 (質問の目的) 新所子育て支援センターに療育（児童発達）支援機能を拡充して欲しい。 (質問事項) 1. 開設より2か月ではありますが、来場者数、相談、預かり保育などの実績は。 2. 現在勤務している職員の資格は。 3. 相談業務は、適切な支援につなげる重要な役割を担うことになると思うが、こども未来部のほか、地域福祉課や幼児教育課等との連携体制について伺う。	

4. 利用対象を就学前の幼児としているが、（元の新所幼稚園の外の遊具などで遊んでいた）小学校低学年位の子の遊び場が無くなったので利用したいとの声があるが如何か。

5. 市内の療育施設の利用回数が新年度から減らされる予定の子どものために、曜日を決めるなどして、理学療法士、作業療法士などを週1回配置して、療育機能を追加拡充出来ないか。

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 2 月 12 日

前
午 11 時 4 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 7 年 2 月 12 日

湖西市議会議長 馬場衛 様

湖西市議会議員 南浩幸^印
(署名又は記名押印)



質 問 方 式 (○を付ける)	☒ 一問一答 ☐ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西市教育行政の方向性について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市教育行政の方向性について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 湖西市では、2025 年度で第 2 次教育振興基本計画が終了するため、次期計画の策定が急務です。不登校児童や外国人児童支援、特別支援教育、ICT 活用、教職員負担軽減など、教育施策の充実が求められています。また、学校の適正配置に向け、小中学校の統廃合が進められていますが、合意形成の方法が課題です。さらに、特色ある教育の選択肢として、小規模特認校の導入も検討すべきと考えます。 (質問の目的) 2025 年度で終了する第 2 次教育振興基本計画の次期計画策定をはじめ、不登校児童生徒や外国人児童生徒への支援、特別支援教育、教職員の負担軽減など、湖西市教育行政の課題とその解決策について具体的に確認し、より良い教育環境を実現するための方策を探る。 (質問事項) 1. 現行計画の成果と課題をどのように整理し、市民・教育現場の意見を反映する仕組みはどのようになっているか。また、次期計画策定の進捗管理と、教育委員会の検証・評価の方法をどのように行うのか伺います。 2. 北部・南部地区の小中学校統廃合について、地域や PTA との話し合いが進められていますが、今後どのように合意形成を図るのか伺います。また、統廃合の方向性や計画についての基本方針と、小規模特認校の導入について教育委員会の考えを伺います。 3. 不登校児童生徒への支援として、校内適応教室の現状と課題について教育委員会の考えを伺います。また、個別最適な教育の推進に向け、インクルーシブ教育やオルタナティブ教育の導入について、今後の方針や取組の可能性を伺います。 4. 教職員の負担増加は全国的な課題であり、湖西市でも教育支援員の配置拡大や ICT 活用が進められています。しかし、さらなる GIGA スクール構想の推進や ICT 支援員による支援体制の充実が必要です。GIGA スクール構想の進捗と教職員の負担軽減に向けた ICT 活用の実態を伺います。また、ICT 支援員の配置状況と今後の拡充計画について、教育委員会の方針を伺います。	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 2 月 12 日

前

午 0 時 / 2 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 7 年 2 月 12 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 瀧本幸夫



質 問 方 式 (○を付ける)	☒ 一問一答 ☐ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	市内農耕地の活用と農業経営の持続的発展に向けて
2	
3	
4	
5	

番号	主 題
1	市内農耕地の活用と農業経営の持続的発展にむけて
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 令和４年９月以降、農業分野に関する一般質問を３回実施しており、今回は４回目の質問となります。これまでに発生した課題について、担当部署から状況を伺い、解決済みの事項や対応中の事項の進捗状況を確認するとともに、新たに発生している問題点について質問する。 (質問の目的) 農業の担い手不足に対する今後の方針と農業経営基盤の強化の促進に関する計画をいかに進めて行くかを確認するため。 (質問事項) 1. 農地の適正な管理と活用に向け、耕作放棄地や未耕作地の活用の進捗状況、農地の貸借関係の整理に関する課題、そして農地パトロールの結果や改善点について伺う。 2. 多面的機能支払交付金の申請状況について伺う。 3. スマート農業（定義：ロボット技術やＩＣＴ等の先端技術の活用をする新たな農業）に対する支援と進捗状況について伺う。 4. 令和７年３月までに作成することになっている農業経営基盤の強化の促進に関する計画（地域計画）の進捗状況について伺う。	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和7年 2月 13日

午前9時39分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和7年 2月13日

湖西市議会議員 馬場 衛 様



湖西市議会議員 山口 裕教 (印)
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	☐ 一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	少子高齢化、世帯数減少による空き家対策について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	少子高齢化、世帯数減少による空き家対策について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 全国的な傾向と同様、湖西市でも少子高齢化の傾向は年々強まっており、本市でも 2005 年をピークに人口が減少し、世帯数が減少に転じる見込みです。これにより、市街地密度の低下を防ぐため、空き地・空き家の活用を図り、密度の維持に取り組む必要があります。その様な中、湖西市は、自動車産業が集積する工業都市でもあり、製造品出荷額は、静岡県下においては静岡市、浜松市に次ぎ第 3 位となっており、市外から約 15,000 人が通勤する「働くまち」でもあります。従って市外からの通勤者やその家族に、湖西市への移住、定住を促進する事が今後の湖西市の生命線とも言えます。今後は子育て世帯や高齢者世帯など、移住世帯のニーズに対応した質の高い良好な立地により定住を促進するために、空き地などの宅地開発と共に利用可能な空き家を活用しての借家や売家を促進する事により、人口減少を防ぎ安心して快適・便利に暮らし続ける活力ある湖西市を構築して行きたいと考え、質問致します。 (質問の目的) 市街化調整区域内の既存集落地では、特に人口減少が進行しています。そのため、空き家を利活用できる補助制度を作り、空き家対策と人口減少対策へと繋げるためです。 (質問事項) 1、空き家の利活用について ①空き家の取得及び利活用を促進するための具体的な支援策をお伺いします。 ②老朽化が進み、空き家の利活用が困難にならないよう相続者が長期間放置しない為の対応策をお伺いします。	

2、持ち主不明の空き家対策について

①未然防止策として、市外や県外に住む相続者へどのように対応するのかお伺いします。

②持ち主不明の空き家になった場合の対処法をお伺いします。

3、空き家の補助制度について

①空き家などの取得、改修、除去、家財処分等に対する補助についてどのようにお考えかお伺いします。

②管理不全空き家や特定空き家を防ぐための管理助成金制度等についてどのようにお考えかお伺いします。

③高崎市では人口減少が進む地域にある空き家を借りる場合に家賃の一部を助成する制度があるが、湖西市でこのような制度を取り入れるお考えがあるかお伺いします。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 2 月 13 日

前
午 9 時 42 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 7 年 2 月 13 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 三上 元 (印)



質 問 方 式 (○を付ける)	一問一答 ・一括の質問答弁
番号	主 題
1	当市の基盤施設の点検について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	当市の基盤施設の点検について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 1月28日に発生した埼玉県八潮市の道路陥没事故を私は映像で見た。左折したトラックが目の前の穴に突然落ちてしまった。 原因は点検時の判断が甘かったようだ。2021年に点検し腐食を確認したのに「ただちに工事をする必要はない」と判断したと報じられている。 東京都は下水道の緊急点検を実施中と言うが、これは下水道だけの問題ではなく、基盤施設全体への警告と受け取る必要がある。 私は、1994年のソウル聖水大橋の崩落と2007年の米国ミネアポリスの高速道路の崩落事故を思い出す。ソウルの大橋は完成後15年、ミネアポリスの道路は完成後40年だった。 ミネアポリスは事故の前年に点検し亀裂を発見したが、「まだ大丈夫」として放置されたのである。	
(質問の目的) 基盤施設の種類によって点検のやり方は異なると思う。 1. どのような点検をするのか 2. その点検情報を得て、どんな行動を誰が決断し行うのか を知りたい。	
(質問事項) 1. 当市の歴史で基盤施設の損傷によって、大きな事故を引き起こした例があるか。 2. 下水道が整備されている地域について、管渠の老朽化や地盤が弱いために道路陥没リスクが懸念されるような危険個所があるか、また常時の点検・維持管理の方法について伺う。	

3. 八潮市の事故をうけ、下水道の緊急点検などの市の対応状況を伺う。
4. 入出の弁財橋は想定耐用年数に近づいていると聞く。過去の一般質問の答弁で架け替えの検討と地元との調整を進めるとのことだったが、その後の進捗はどうなっているか伺う。
5. 道路、橋梁、上下水道などの基盤施設老朽化等に起因する事故の事後・予防保全について、この八潮市の事故から何を学んだか、また今後の危機管理に対する市の考えを伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること